

海外調達入門セミナー

海外から製品を調達するスキルを基本から学ぶとともに、サプライヤとのコミュニケーションや、リスク・トラブル対応など、担当者が悩みやすい項目も網羅しています。実務に即したQ&Aが好評の定番プログラムです。

開催日時 **2024年 5月29日(水)** **2024年11月13日(水)** **オンライン** **大阪会場** **オンライン選択可** 各回とも 10:00~16:30

対象 • 海外調達のご担当者 • 海外サプライヤとのやりとりがある方

講師 **坂口 孝則 氏**
未来調達研究所(株) 取締役

参加料(税込)

法人会員：55,000円/1名
会員外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

海外調達の実務を事例を交えて学ぶ

コスト削減や、国内で調達できない部材の確保、リスク分散などを目的として、海外調達を進める企業が増えていきます。

本セミナーでは、海外から製品を調達するスキルを基本から学びます。

さらに、サプライヤとのコミュニケーションや、リスク・トラブル対応など、担当者が悩みやすい項目も取り上げます。

実務に即したQ&Aにより、明日からの海外調達業務に活かすことができるプログラムです。

参加者の声

- 実務をやっているだけでは知りえない知識や、講師の体験談、情報ソースなどが聞けて大変有意義でした。
- 与信調査はどのようにしたらよいのか、有益な情報はどこから探したらよいのかなど参考書には載っていないようなことを知ることができたので良かった。
- 物流や輸入関税の詳細についても学ぶことが出来た点が良かった。特に関税については事例集があってわかりやすかった。
- 契約書は法務部門の担当者に意見をもらいながら進めているが、具体的に確認すべき重要ポイントが今回わかったのが良かった。
- 契約に関して注意すべき点が具体的。例文も説明もとても分かりやすかった。

■ プログラム

10:00~16:30 [昼食] 12:00~13:00

1 海外調達はなぜ必要か、なぜ重要か

- (1) 海外輸入のメリットとデメリット
- (2) 直接輸入と商社経由輸入

2 海外調達のプロセスを確認する

- (1) 輸入業務の流れ
- (2) どのように海外サプライヤを探すか
- (3) 海外サプライヤの製品コスト
- (4) 輸入にまつわる各種コスト
- (5) インコタームズの説明
- (6) 契約書の締結
- (7) 海外輸入における製品と書類の流れ

3 海外サプライヤとのコミュニケーション

- (1) 海外サプライヤとのギャップ
- (2) ギャップを埋めるために必要なこと

4 海外調達先とのトラブル事例・ 知っておきたい法律

- (1) 金型の図面流出
- (2) その他輸入にまつわるトラブルと法律

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

